令和6年

10月定例総会会議録

酒田市農業委員会

令和6年10月定例総会 会議録

1 日 時 令和6年10月11日（金） 午前9時30分 開議

2 場 所 市役所 703号室

3 出席委員（26名）

1番	莊司太一郎	委員	2番	後藤 保喜	委員	3番	池田 良之	委員
4番	大場 重樹	委員	5番	石川 渡	委員	6番	佐藤 良	委員
7番	吉高祐二郎	委員	8番	五十嵐弘樹	委員	9番	佐藤 秀之	委員
10番	飯塚 将人	委員	11番	佐藤 晴子	委員	12番	兼山 宏勝	委員
13番	尾形 大介	委員	14番	樋口 準二	委員	15番	佐々木浩希	委員
16番	佐藤 浩良	委員	17番	高橋 公基	委員	18番	三浦ひとみ	委員
19番	佐藤 利篤	委員				21番	土田 治夫	委員
22番	伊藤 正行	委員	23番	佐々木治人	委員	24番	伊與田明子	委員
25番	川村 恵実	委員				27番	佐藤 耕造	委員
			29番	遠田 裕己	委員			

4 欠席委員（3名）

20番	阿部 香美	委員	26番	齋藤 均	委員	28番	田村 晴久	委員
-----	-------	----	-----	------	----	-----	-------	----

5 事務局職員出席者

事務局長	今野紀生	事務局次長	遠田 博	事務局次長	阿彦智子
農地係長	安倍 誠	主事	佐藤輝一	専門員	佐藤久志
調整主任	齋藤敏夫	専門員	出嶋 亨		

6 報告事項

1. 農地法第3条の3届出書の受理について
2. 農地法第5条届出書の受理について
3. 農地の現況等に係る照会に対する回答について
4. 農地法第18条第6項の規定による通知受理について

7 議 事

議第46号	農地法第3条の規定による許可申請について
議第47号	農地法第5条の規定による許可申請について
議第48号	農用地利用集積計画について
議第49号	農用地利用集積等促進計画策定に係る要請 について

8 開 会

開 会
(午前9時30分 開会)

○今野事務局長

改めまして、まだ稲刈りの終わっていない委員さんもいらっしゃるようではございますけれども、お忙しいところ本当にお集まりいただきましてありがとうございます。
令和6年10月の酒田市農業委員会定例総会、開会したいと思います。
総会の開会に当たりまして、土田治夫会長職務代理より挨拶をお願いいたします。

○土田治夫 会長職務代理者
(挨拶)

○今野事務局長

ありがとうございました。
総会の議長は、会長が務めることになっておりますけれども、議会出席で欠席となりますので、規定によりまして職務代理者が代理ということになっております。
では、引き続きまして土田会長職務代理者、よろしくをお願いいたします。

○土田治夫 議長

それでは、皆様のご協力によりまして、議事を円滑に進行したいと思います。
本日の欠席委員は、20番、阿部香美委員、26番、斎藤均委員、28番、田村晴久委員です。
定足数に達しておりますので、本日の会議を開きます。
お手元に配付しております定例総会次第によって進めます。

◎議事録署名委員の選任

○土田治夫 議長

最初に、議事録署名委員の選任を行いますが、選任の方法は、議長にご一任願います。
議事録署名委員に、29番、遠藤裕己委員、1番、荘司太一郎委員の両名にお願いします。

◎報告事項

○土田治夫 議長

最初に、報告事項について事務局の説明を求めます。

○今野事務局長

では、報告事項につきましては、議案の3ページ目からになります。
今回の報告事項ですけれども、農地法第3条の3の届出書の受理が18件、農地法第5条届出書の受理につきましては2件、農地の現況等に係る照会に対する回答については2件、農地法第18条第6項の規定による通知受理については6件、以上28件となっております。
では、詳細につきましては、農地係長が報告をいたします。

○安倍農地係長

(報告事項を朗読説明する)

○土田治夫 議長

報告事項ではございますが、ご質問、ご意見のある方、お願いします。
ございませんか。

(発言する者なし)

○土田治夫 議長

ないようですので、これで報告事項を終わります。

◎議第46号 農地法第3条の規定による許可申請について

○土田治夫 議長

これより議事に入ります。

議第46号 農地法第3条の規定による許可申請についてを上程の上、議題といたします。

事務局の説明を求めます。

○今野事務局長

議第46号 農地法第3条の規定による許可申請につきましては、9件の許可申請がありましたので、その可否を決しようとするものであります。

詳細につきまして、説明いたします。

○安倍農地係長

それでは、農地法第3条の規定による許可申請について、16ページをご覧ください。

なお、今回の農地法第3条の許可申請については、全ての案件におきまして、全部効率活用要件、農業常時従事要件、地域との調和要件において、農地法第3条第2項の各号には該当せず、許可要件を満たしているものと考えます。

また、今回の3条案件では、農業者年金への影響はありません。

それでは、酒田51番、北千日町、高砂、豊里、十里塚、吉田新田、本楯の田、畑、合計20筆、2万5,676.42平米、北千日町の〇〇から同じくの〇〇へ、関係は親子になります。その他、使用貸借権の設定で、再設定となります。宅地地目については、現況畑となっております。

続いて、酒田52番、門田の田1筆、1,802平米、宮城県の〇〇から新堀の〇〇へ、相手方の要望、所有権移転で、贈与となります。

酒田53番、生石と桜林の田、畑、合計8筆、9,188平米、神奈川県〇〇から堀野内の〇〇へ、相手方の要望、所有権移転で、贈与となります。

酒田54番、浜中の畑1筆、198平米、神奈川県〇〇から浜中の〇〇へ、相手方の要望、所有権移転で、贈与となります。

続いて、酒田55番です。上野曾根の田1,852平米、2筆になります。〇〇から〇〇へ、パイプラインの埋設のための区分地上権の設定です。区分地上権についてですけれども、工作物を所有するために、他人の土地の地下や上空の空間を一定の範囲を定めて使用する権利ということになっております。身近なものでは、上空に電力の送電線がある場合に、農地に設定されるものが多い権利となっております。申請箇所は、上田地区に建設された全農の農業用倉庫の外周の農地となります。倉庫の建設に伴い、日向川土地改良区のパイプラインが倉庫外周に移設されました。その移設された土地への区分地上権の設定になります。

別紙資料をご覧ください。

2ページ、3ページが地積測量図となります。倉庫が建設された77-1、87-1の外周となる77-2、87-2にパイプラインが移設されたことによる区分地上権の設定となります。

4ページは、倉庫を含めた全体の平面図となります。

5ページから7ページまでが、現況写真となります。ご覧のとおり、倉庫の敷地の外周ののり面の赤白線で表示されている箇所に移設されたパイプラインが埋設されております。

酒田55番の説明は以上です。

続いて、酒田56番、黒森の畑3筆、6,038平米、三川町の〇〇から黒森の〇〇へ、関係は親子となっております。その他所有権の移転で、贈与となります。

続いて、八幡地区、お願いします。

○八幡総合支所 佐藤専門員

八幡になります。

八幡5番、市条の畑1筆、240平米、譲渡人は生石の〇〇から譲受人、こあら2丁目の〇〇になります。申請理由はその他所有権移転となり、贈与となります。

八幡地区は以上です。

○松山総合支所 齋藤調整主任

続きまして、松山地区です。

松山地区、2件でございます。

初めに、松山7番、使用貸借で、漆曾根、山寺の田、畑、合わせて8筆、1万5,252平米、譲渡人が庄内町小出新田の〇〇、受け人が同じく庄内町小出新田の〇〇、関係が親子です。その他で、年金を伴わない経営移譲となっております。

松山8番は、安倍農地係長から説明します。

○安倍農地係長

松山8番です。

山寺の畑1筆、515平米です。庄内町の〇〇から同じく庄内町の〇〇へ、相手方の要望、所有権移転です。

別紙資料1ページをご覧ください。

10アール当たりの売買価格が20万円となっております。

申請農地について、酒田市の山寺ということになっておりますけれども、こちらは最上川の左岸にありまして、庄内町側にある酒田市の農地となっております。譲受人の〇〇は畜産を営んでいて、〇〇の代表となっており、個人としては庄内町で経営面積が4万6,237平米ありまして、庄内町では個人として認定農業者を受けているということでありまして、作付け作物は、大豆を予定しているということを聞いております。

以上です。

○土田治夫 議長

農地調査委員会の報告をお願いします。

○8番 五十嵐弘樹委員

8番、五十嵐です。

10月4日に、第5班による農地調査委員会を行っております。

議第46号 農地法第3条の規定による許可申請について、農地調査委員会では協議及び審議の結果、許可することに特に問題はないとの意見であったことを報告いたします。

○土田治夫 議長

質疑に入る前ではございますが、3条許可申請の案件ですので、現地調査の結果を確認いたします。

今回の議案の中で、地元農業委員からは現地調査の結果、特に疑義のある報告は受けていないということですが、何かお気づきの点など補足的説明があれば、初めにお願いします。

何かございませんか。

(発言する者なし)

○土田治夫 議長

ないようですので、これより質疑に入ります。

ご質問、ご意見のある方、お願いいたします。

ご質問ございませんか。

(発言する者なし)

○土田治夫 議長

ないようですので、質疑を打ち切ります。

採決に入ります。

議第46号 農地法第3条の規定による許可申請について、許可決定することにご異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○土田治夫 議長

異議ないようですので、議第46号については許可決定といたします。

◎議第47号 農地法第5条の規定による許可申請について

○土田治夫 議長

続きまして、議第47号 農地法第5条の規定による許可申請についてを上程の上、議題といたします。

事務局の説明を求めます。

○今野事務局長

議第47号 農地法第5条の規定による許可申請につきましては、今回4件の許可申請がありましたので、その可否を決定しようとするものであります。

詳細につきましては説明を申し上げます。

○安倍農地係長

議案書の19ページをお願いします。

酒田14番です。浜中の登記簿が山林、現況が畑で、6筆で、登記簿面積5,062平米のうち32平米です。申請事由は営農型太陽光発電施設敷地、賃借権の設定で、農地区分は農振農用地区域となります。許可基準は5か月間の一時転用で、更新となります。転用面積の32平米は、太陽光パネルの架台の支柱部分と太陽光発電の関連施設の面積となります。

別紙資料の8ページ、9ページの位置図、案内図をご覧ください。

場所は浜中地区で、JA庄内みどり園芸センターから東へ約700メートル、市道広岡浜中線の南側の畑になります。現況は、畑を続けながら、太陽光パネル1,376枚が設置されています。栽培作物は、前年のアスパラからソバに変更され、市内で長年ソバ栽培を行っているグループからアドバイスをいただきながら、今年7月下旬に種まきを行い、ソバ栽培が行われています。

別紙資料の10ページから12ページが、営農計画及び営農への影響見込書になります。

13ページが、酒田農業技術普及課からの知見を有する者の意見になりますが、収量は先月の黒森の案件と同様、地域の平均的な単収と比較して減収が予想されると意見が出ています。この意見を受けまして、申請者からは収量確保に向けて、来年以降につきましては二期作も検討したいと伺っております。

14ページから16ページが10月1日に撮影した現況写真となりますが、ご覧のとおり太陽光パネルの下でソバ栽培が行われています。

今回の更新許可に当たっては、今までの栽培してきたシイタケ、アスパラ等の営農状況が基準をなかなかクリアできないこと、今年から始めたソバ栽培が収穫を迎えていないこと、酒田農業技術普及課より基準のクリアが難しいとの意見が出ていることなどを踏まえて、申請者と協議して一時転用の期間を5か月間としております。

この案件につきましては、今後も適切な営農確保に向けて継続的な圃場の確認や申請者からの聞き取りなどの働きかけが必要と考えております。

酒田14番の説明は以上です。

続いて、酒田15番になります。境興野の田4筆、457平米です。境興野の〇〇から、同じく境興野の〇〇へ、転用理由が住宅敷地、所有権移転です。農地区分は第1種農地、許可基準が日常生活上必要な施設で、集落に接続で、許可可能と判断しています。

別紙資料の1ページをご覧ください。

10アール当たりの売買価格が175万500円です。

17ページ、18ページの図面をご覧ください。

場所は東平田地区の境興野集落の東南の位置、境興野構造改善センター遊園地の北側になります。

19ページの写真をご覧ください。

奥に見えるのが、申請者が現在居住している実家で、手狭になったために、申請者夫婦の住宅を隣接に建設するものです。

20ページの写真をご覧ください。

赤線の長細い部分につきましては、駐車場とする計画で、隣接農地の所有者からの承諾書、土地改良区からの意見書は提出済みです。

以上です。

続いて、平田地区、お願いします。

○平田総合支所 出嶋専門員

おはようございます。

それでは、平田の1番でございます。

中野俣村北206-1、1筆でございます。面積が517平米、〇〇から〇〇への賃貸借権設定となりますが、申請事由は、円能寺地区の公共工事の現場事務所、資材置場、作業用駐車場等で一時転用でございます。農地区分は農用地、転用の期間は5か月ということでございます。

別紙資料21ページ、お願いいたします。

位置図、字切図は以上の場所となっておりますが、分かりやすいところでは、次の22ページ目の申請地ということで、沖集会所からまっすぐ行ったらすぐ近くでございます。

23ページ、写真をご覧くださいいただければと思います。

周囲への影響はなく、隣接の農業者からの意見も頂戴しております。この場所につきましては、以前も一時転用で、現場事務所使った経緯あります。

平田1は以上です。

続きまして、平田2番でございます。これは所有権の移転でございます。砂越字粕町21-8の畑、面積は475平米であります。渡し人〇〇から受け人が〇〇で、申請事由は住宅用敷地、二種農地になっております。売却価格が、総額800万で、別紙資料1ページ目、10アールあたりに換算いたしますと1,684万2,100円です。

引き続き、別紙資料の25ページ目からご覧いただきたいと思っております。

位置図、字切図は、次の26ページ目、ご覧ください。

場所につきましては、マックスバリュー平田店のちょうど裏手に当たる場所でございます。住宅に囲まれている場所となっております。

27ページ、28ページは写真となっておりますけれども、28ページ目にあるこの建物もそのまま使うということでございます。日常生活に必要な施設としての集落接続ということで許可したいということでございます。

以上、よろしくお願いいたします。

○土田治夫 議長

農地調査委員会の報告をお願いいたします。

○8番 五十嵐弘樹委員

8番、五十嵐です。

議第47号 農地法第5条の規定による許可申請について、農地調査委員会では、協議及び審議の結果、酒田14番はこれまで栽培作物が3度変更されていることなどを踏まえ、適切な営農確保に向けて継続的な働きが必要との意見がありました。それ以外については、許可することに特に問題はないとの意見であったことを報告いたします。

○土田治夫 議長

それでは、質疑に入る前ではございますが、5条許可申請の案件ですので、地元委員の現地調査の結果を確認いたします。

酒田14番の現地報告を17番、高橋公基委員より報告願います。

○17番 高橋公基委員

17番、高橋です。

酒田14番について、10月1日に事務局と現地確認を行いました。今年からはソバが栽培されておりましたが、砂丘畑でのソバ栽培はあまり例がなく、今年が初めての収穫となりますので、定期的な営農状況の確認が必要と思われまますので、許可期間としては5か月間が相当だと思われまます。よろしくご審議のほどお願いいたします。

○土田治夫 議長

続きまして、酒田15番の現地報告を9番、佐藤秀之委員より報告願います。

○9番 佐藤秀之委員 9番、佐藤です。

酒田15番について、10月2日に事務局と現地確認を行いました。現在住んでいる実家の隣接で、住宅敷地としての大きさも適正であり、隣接農地への影響も心配されないため、転用はやむを得ないと思われまます。よろしくご審議のほど、お願いいたします。

○土田治夫 議長

続いて、平田1番の現地報告を2番、後藤保喜委員より報告願います。

○2番 後藤保喜委員

2番、後藤保喜です。

平田1番について、10月2日、事務局の安倍さん、宇野さん、それから平田総合支所の出嶋さんと現地確認を行いました。写真でも分かるように、周囲を道路と用水路に囲まれていまして、ほかの周辺の農地に影響が全くなく、適切に管理され、面積も適当にあると思われまますので、転用は問題ないと思われまます。ご審議よろしくお願いいたします。

○土田治夫 議長

続いて、平田2番の現地報告を5番、石川渡委員より報告願います。

○5番 石川 渡委員

5番、石川です。

平田2番について、10月2日に事務局と私、4名で現地確認を行いました。宅地と道路に囲まれた畑であり、周囲への影響もなく、住宅として大きさも適正であるため、転用はやむを得ないと思われまます。ご審議のほど、よろしく願います。

○土田治夫 議長

これより質疑に入ります。

ご質問、ご意見のある方願います。

ご質問ございませんか。

(発言する者なし)

○土田治夫 議長

ないようですので、質疑を打ち切ります。

採決に入ります。

議第47号 農地法第5条の規定による許可申請について、許可決定とすることにご異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○土田治夫 議長

異議ないようですので、議第47号については許可決定といたします。

◎議第48号 農用地利用集積計画について

○土田治夫 議長

続きまして、議第48号 農用地利用集積計画についてを上程の上、議題といたします。
事務局の説明を求めます。

○今野事務局長

議第48号 農用地利用集積計画につきましては、一般事業の1、利用権の設定が19件の計画の申出があります。その可否を決定しようとするものであります。
詳細につきまして、事務局より説明いたします。

○安倍農地係長

それでは、農用地利用集積計画について、20ページをご覧ください。
今回、審議いただく農用地利用集積計画の全件につきましては、全部効率活用要件、農業常時従事要件、自立、意欲、能力要件、認定農業者等、経営面積において、旧農業経営基盤強化促進法第18条第3項の各要件を満たしているものと考えます。
また、農業経営基盤強化促進事業の対象とすることに不適正な事実がないことを、地元農業委員からあらかじめ確認していただいております。
それでは、1の一般事業、利用権の設定です。
公告予定は、令和6年10月17日です。
南遊佐3番、1万円の10年の更新です。
新堀の6番、8,000円と1万円、10年の更新です。
広野10番、9,970円、10年の更新です。
広野11番、1万円の5年の更新です。
浜中10番、3,000円の5年の新規です。
八幡地区、お願いします。

○八幡総合支所 佐藤専門員

八幡地区になります。
大豊田と大島田、大蕨の面積合計1万1,139平米、田んぼになります。賃借料は、大蕨の農地はこのたびの大雨の災害によりまして、復旧のめどが今のところ立っていないということで、こちらを除いて賃借料1万円となっております。なお、大蕨の農地については、復旧次第、賃借料を双方で話し合うことになっております。譲渡人は大蕨の〇〇から譲受人の〇〇への10年で、令和7年1月から令和16年の12月までになっております。新規となります。
以上です。

○松山総合支所 齋藤調整主任

続いて、松山です。
松山1件です。
中牧田字前田の田んぼ、1万円の10年の更新となります。渡し人が中牧田の〇〇、受け人は同じく中牧田の〇〇になります。よろしく申し上げます。

○平田総合支所 出嶋専門員

続きまして、平田12件ございます。
まず、最初に平田21番ですが、1筆、8,000円、10年の更新でございます。
平田22番、西坂本と田沢の田んぼ6筆、西坂本は、田んぼの質があまりよくないので1,000円、田沢が8,000円の賃借料でございます。10年の更新でございます。
次のページに移りまして、平田の23番、飛鳥の田んぼ1筆でございます。賃借料は1万円、10年の更新でございます。
平田の24番、飛鳥の7筆でございます。賃借料は1万円で、10年の更新でございます。
平田の25番、田沢の田んぼ8筆、田沢字菅沼1筆につきましては3,000円、あと残りは8,000円とい

うことでございます。10年で更新でございます。

平田の26番、砂越の2筆でございます。1万円、10年の更新ということになります。

次のページ、お願いいたします。

平田の27番です。砂越3筆、1万円、10年、更新です。

平田の28番です。砂越3筆、1万円、5年、更新です。

平田の29番、山谷新田1筆、こちらは鳥海南麓になりますけれども、使用貸借です。10年の更新です。

平田の30番です。田沢の田んぼ1筆、賃借料は5,000円、3年の更新でございます。

平田の31番です。砂越の田んぼ1筆、賃借料は1万円、10年の更新であります。

平田の32番です。山谷新田の田んぼ1筆、こちらは総額1万8,000円、10アールに割り返しますと5,189円、10年の更新でございます。

以上、ご審議くださいますようよろしくお願いいたします。

○土田治夫 議長

農地調査委員会の報告をお願いいたします。

○8番 五十嵐弘樹委員

8番、五十嵐です。

議第48号 農用地利用集積計画についてですが、農地調査委員会では協議及び審議の結果、特に問題はないとの意見があったことを報告いたします。

○土田治夫 議長

これより質疑に入ります。

ご質問、ご意見のある方、お願いいたします。

ご質問ございませんか。

(発言する者なし)

○土田治夫 議長

ないようですので、質疑を打ち切ります。

議第48号 農用地利用集積計画について、計画決定とすることについてご異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○土田治夫 議長

異議ないようですので、議第48号については計画決定といたします。

◎議第49号 農用地利用集積等促進計画策定に係る要請について

○土田治夫 議長

続きまして、議第49号 農用地利用集積等促進計画策定に係る要請についてを上程の上、議題といたします。

事務局の説明を求めます。

○事務局長

議第49号 農用地利用集積等促進計画策定に係る要請につきましては、やまがた農業支援センターに農用地利用集積等促進計画を定めるよう要請することの可否について決定しようとするものであります。

では、詳細につきまして、事務局より説明をいたします。

○安倍農地係長

それでは、説明いたします。

令和5年4月に基盤法が改正され、集積事業が中間管理事業による農用地利用集積等促進計画に一本化されましたが、令和7年3月の2年間の地域計画が策定されるまでは、経過措置として、従来の集積計画での手続が可能で、中間管理事業についても一括方式の集積計画が可能です。

酒田市ではまだ地域計画ができておりませんので、新規・再契約については、先ほど説明しました経過措置、一括方式による集積計画での手続になります。しかし、受け手変更の移転については、経過措置による一括方式を使うことができず、促進計画で手続を行うことになります。

地域計画ができていない段階での促進計画の策定には、農地中間管理機構に促進計画を定めるよう要請する手続が必要になります。要請してよいかをご審議いただく内容のものになります。内容をご説明します。

議案書の25ページから28ページをご覧ください。

受け手変更のための移転で、31件、162筆、移転の理由として、主なものが経営移譲や受け手の離農によるものとなります。

次に、29ページをご覧ください。

こちら1件4筆になりますが、所有者不明農地の貸し借り案件となります。所有者不明の農地の貸し借りは、所有者不明の探索や県知事裁定などの手続を経て、中間管理機構を通して貸し借りが可能です。移転の案件と同様に促進計画での手続となり、農地中間管理機構に促進計画を定めるよう要請する手続が必要になります。

なお、今回要請する案件は、去る9月12日に開催された農地利用集積センター本店会議で承認された内容と同じになります。

説明は以上です。

○土田治夫 議長

農地調査委員会の報告をお願いいたします。

○8番 五十嵐弘樹委員

8番、五十嵐です。

議第49号 農用地利用集積等促進計画策定に係る要請については、農地調査委員会では、協議及び審議の結果、要請することに特に問題なしとの意見であったことを報告いたします。

○土田治夫 議長

それでは、質疑に入ります。

件数が多いため、審議の前に精査のための時間を設けたいと思います。

一、二分間、黙読をお願いします。

(黙読)

○土田治夫 議長

それでは、初めに農業委員会等に関する法律第31条の規定による議事参与の制限の案件を先に審議します。

議事参与制限に該当する案件として、10番、飯塚将人委員、21番、土田治夫委員、2名に退席を求めます。

なお、私も議事参与の制限となり退席いたしますので、酒田市農業委員会規程第19条第2項による臨時の議長として、農地調査委員長に議長を交代いたします。

暫時休憩いたします。

午前10時23分 休憩

午前10時23分 再開

○五十嵐弘樹 議長

それでは、再開いたします。

議事参与の制限がかかる案件について、議案書のページと番号を申し上げます。

25ページ、3番、4番、27ページ、28ページ、26番から31番について、ご質問、ご意見のある方
願いたします。
ご質問ないでしょうか。

(発言する者なし)

○五十嵐弘樹 議長

ないようなので、3番、4番、26番から31番の審議を打ち切ります。
採決に入ります。

農業委員会等に関する法律第31条の規定による議事参与の制限の案件について、要請すること
にご異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○五十嵐弘樹 議長

異議ないようですので、これらについて要請することを決定いたします。
ここで、10番、飯塚将人委員、21番、土田治夫委員の退席を解除します。

午前10時25分 休憩

午前10時25分 再開

○土田治夫 議長

議事再開します。

続きまして、これまで決定した農業委員会等に関する法律第31条の規定による議事参与の制限の
案件以外について審議します。

ご質問、ご意見のある方願いたします。

ご質問ございませんか。

(発言する者なし)

○土田治夫 議長

ないようですので、質疑を打ち切ります。

採決に入ります。

議事参与の制限の案件以外を要請することについてご異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○土田治夫 議長

異議ないようですので、議事参与の制限の案件以外を要請することを決定いたします。

以上により、議第49号については全ての要請決定となりました。

以上をもちまして、令和6年10月定例総会を閉会いたします。

開 会

(午前10時26分 閉会)